

# エコアクション21 環境経営レポート

対象期間: 2023年10月1日～2024年9月30日



株式会社 渥美

2024年12月16日作成

# 目 次

1. 組織の概要	1
2. 事業規模	2
3. 環境経営方針	3
4. 実施体制	4
5. 環境負荷の実績	5
6. 環境経営目標	6
7. 環境経営計画	7
8. 運用期間の達成状況と評価	8
9. 環境経営計画の実施状況と評価および次年度の取組	9
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果 ならびに違反・訴訟の有無	10
11. 代表者による全体の評価と見直し	11

# 1. 組織の概要

## 1. 事業所名

株式会社 渥美

## 2. 所在地

〒437-1103

静岡県袋井市豊住851番地

## 3. 代表者氏名

代表取締役社長 渥美寿人

## 4. 事業活動の内容

管工事	冷暖房空調設備工事 給排水衛生設備工事 及び 機械設備工事
土木工事	上下水道施設工事・畑地かんがい施設工事 一般土木工事
建築工事	リフォーム工事

### 建設業許可

静岡県知事許可(特-1)第3064号

土木工事業、とび・土工工事業

石工事業、管工事業、鋼構造物工事業

ほ装工事業、しゅんせつ工事業

塗装工事業、水道施設工事業

静岡県知事許可(般-1)第3064号

建築工事業、造園工事業

機械器具設置工事

### 廃棄物収集運搬業許可

第02201147718号

期間:2024/4/3～2029/4/2

(自社運搬のみ)

## 5. 事業の規模

資本金	2千万円
従業員数	45人
事務所床面積	157.04㎡
倉庫床面積	143.53㎡

## 6. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	大石武臣	(0538-23-3921)
	簀下克巳	( 同 上 )
担当者	久野公美	( 同 上 )
	大石純子	( 同 上 )

## 7. 事業年度

10月1日～翌年9月30日

## 2.事業規模

### 1.活動規模

活動規模	単位	2021年度 (2021年10月 ～2022年9月)	2022年度 (2022年10月 ～2023年9月)	2023年度 (2023年10月 ～2024年9月)
工事等の件数	件	61	70	83
売 上 高	百万円	1,731.860	1,709.713	2,359,462
従 業 員	人	37	43	45
事務所床面積	m <sup>2</sup>	157.04	157.04	157.04
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	143.53	143.53	143.53

### 2.対象範囲

対象組織 株式会社 渥美 (全社で取得)

対象活動 管工事 (冷暖房空調設備工事・給排水衛生設備工事・機械設備工事)

土木工事 (上下水道施設工事・畑地かんがい施設工事・一般土木工事)

建築工事 (リフォーム工事)

### 3.資格取得人数

1級管工事施工管理技士	10
2級管工事施工管理技士	4
1級土木施工管理技士	4
2級土木施工管理技士	6
2級建築施工管理技士	3
1級配管技能士	3
2級配管技能士	3
給水装置工事主任技術者	11
建築設備士	1
消防設備士(甲種)	5
登録配管基幹技能者	1
1級建設機械施工技士	1
2級建設機械施工技士	1

### 3. 環境経営方針

## 株式会社渥美 エコアクション21 環境経営方針

#### ＜基本理念＞

当社は、建設事業を行う事業所として、常に環境の保全を意識し、環境経営を進めることにより、資源循環型社会の構築に貢献します

#### ＜行動指針＞

- ① 工事現場のクレームを削減し、現場施工品質の向上に努めます
- ② 省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、  
二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水利用量の削減に努めます
- ③ 環境関連の法律を遵守します
- ④ 事務用品、建設資材のグリーン購入に努めます
- ⑤ 全社員に環境に関しての教育を行い、環境保全の意識を高めます

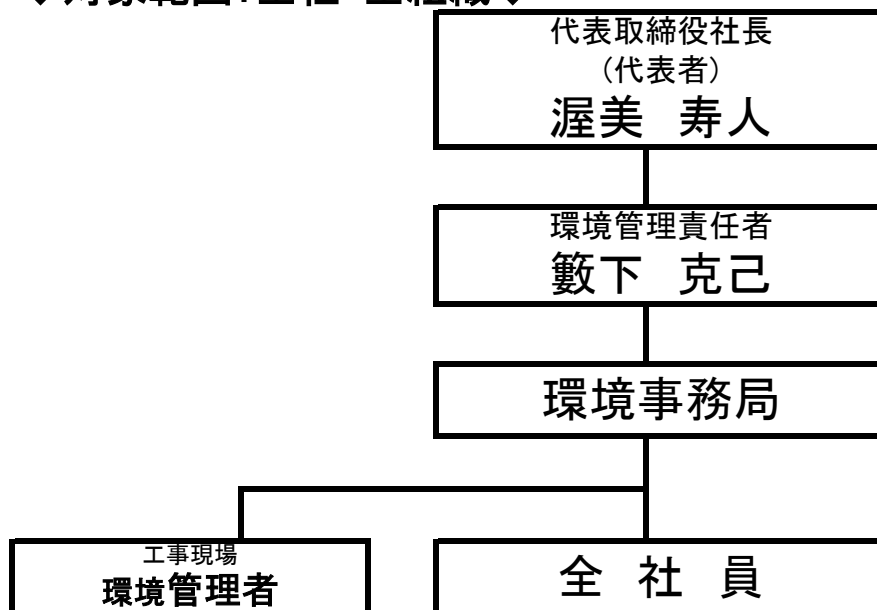
株式会社 渥美  
代表取締役 渥美寿人

制定： 2011年12月9日  
改定： 2017年11月29日

## 4. 株式会社渥美 実施体制

制定	2011.12.8	改定	2012.1.23
改定		改定	
改定		改定	

### ◆対象範囲: 全社・全組織◆



担 当	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者(代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針を定める</li> <li>・環境管理責任者を指名</li> <li>・資源(人材・資金・技術)の用意</li> <li>・システムを評価し、見直す</li> </ul>
環境管理責任者(工事部長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステムの総責任者としての役割権限を他の責任に関わらず持つ</li> <li>・環境マネジメントシステムの実施を代表者に報告</li> <li>・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション21における文書の作成</li> <li>・環境目標及び環境活動計画案の作成</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック</li> <li>・取組に必要な場合の手順書案</li> <li>・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定</li> <li>・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境活動レポートの作成</li> </ul>
工事現場 現場の環境管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の環境マネジメントの実施</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の確認・理解</li> <li>・各個人における環境マネジメントシステムの実施</li> </ul>

## 5. 環境負荷の実績

項目	環境負荷	単位	2021年度 2021年10月 ～2022年9月	2022年度 2022年10月 ～2023年9月	2023年度 2023年10月 ～2024年9月
全体	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	168,240.07	165,704.13	141,386.19
	ガソリン 使用量	L	51,672.76	49,529.61	42,288.67
事務所	電気 使用量	kWh	26,468	25,532	36,617
	水使用量 (排水量)	m <sup>3</sup>	191	207	265
	一般廃棄物 排出量	kg	1,333.60	2,010.80	2,047.70
工事現場	軽油 使用量	L	14,110.70	14,509.82	9,792.38
	産業廃棄物 排出量	t	808.3	1,849.8	1,883.3

## 6. 環境経営目標

項目	環境負荷	単位	2021年度 実績 2021年10月～ 2022年9月	2022年度目標 (基準年度比1%減) 2022年10月 ～2023年9月	2023年度目標 (基準年度比2%減) 2023年10月 ～2024年9月	2024年度目標 (基準年度比3%減) 2024年10月 ～2025年9月
	売上高	百万円	1731.9	2021年度の売上と同額とみなし		
	手直し工事件数		目標達成	発生件数ゼロを目標とする		
全体	二酸化炭素排出量	kg-CO2	167,764.00	166,086.36	164,408.72	162,731.08
		kg-CO2/売上高(百万円)	96.87	95.90	94.93	93.96
	ガソリン使用量	L	51,672.76	51,156.03	50,639.30	50,122.58
		L/売上高(百万円)	29.84	29.54	29.24	28.94
事務所	電気使用量	kWh	26,468	26,203	25,939	25,674
		kWh/売上高(百万円)	15.28	15.13	14.98	14.82
	水使用量(排水量)	m <sup>3</sup>	191	189	187	185
		L/売上高(百万円)	0.110	0.109	0.108	0.107
	一般廃棄物排出量	kg	1,333.60	1,320.26	1,306.93	1,293.59
		kg/売上高(百万円)	0.77	0.76	0.75	0.75
	グリーン購入の推進	件	45	グリーン購入に配慮する		
工事現場	軽油使用量	L	14,110.70	13,969.59	13,828.49	13,687.38
		L/売上高(百万円)	8.15	8.07	7.98	7.90
	産業廃棄物排出量			再資源化率85%以上を目指す		
	環境配慮			分別の徹底、環境配慮に徹底した現場管理を行う		

※水使用量(排水量)に関しては、把握のみを行い、節水に努めます。

※建設資材等のグリーン購入は、数値目標の策定が難しいため、日常管理で徹底していきます。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の2022年度の排出係数(0.459kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用。



7.環境経営計画

期間：2023年10月～2024年9月

項目	目的	責任者	具体的取組		2023年			2024年								
					10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	工事直しの削減	大石	・自社にて中間検査を行う	実施結果から目標達成状況の確認	←											
			・情報交換を定期的に行う		←											
事務所	二酸化炭素の削減	久野・大石	・待機電力の削減		←											
			・不要な照明の消灯		←											
			・エアコンの設定温度 冷房温度28℃ 暖房温度22℃		←											
			・冷暖房機器の清掃		←											
			・外出時の効率化		←											
	削減の排水	青大石	・水道配管からの漏水を定期的に点検		←											
	削減の廃棄物排出量	久大野石	・ゴミの分別の徹底		←											
		大石	・段ボール等紙類のリサイクル		←											
		大久石野	・コピー用紙の両面使用		←											
	のング推奨購入	大律石子	・文房具、資材等の新規購入に於いてグリーン購入の実績を把握、購入を検討		←											
現場	二酸化炭素の削減	大石	・不必要なアイドリングの禁止		←											
			・現場への車輛乗り合い実施		←											
	削減の排水	大石	・車両の往復回数削減		←											
			・重機の定期的自主点検のほか、施工開始時点検の実施		←											
	削減の廃棄物排出量	大石	・洗車時の節水／工具・器具・用具等の清掃		←											
			・仮設材等の再利用		←											
			・仮設資材・用具のリユース化		←											
			・不要な塩ビパイプの回収		←											
	配環境	大石・久野	・電子マニフェストの導入		←											
			・分別の徹底		←											

※3カ月に一度、取組状況の確認と把握

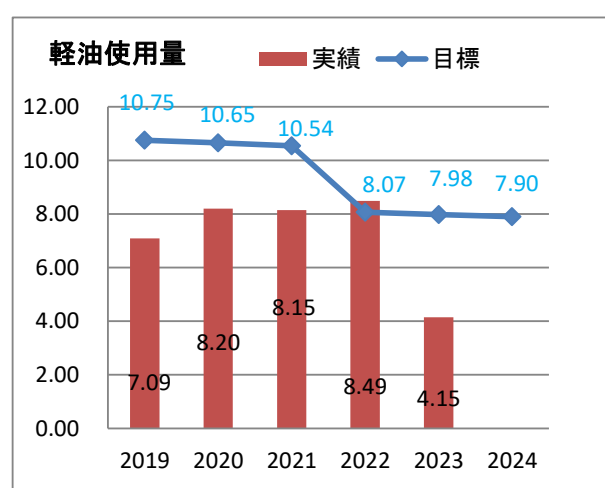
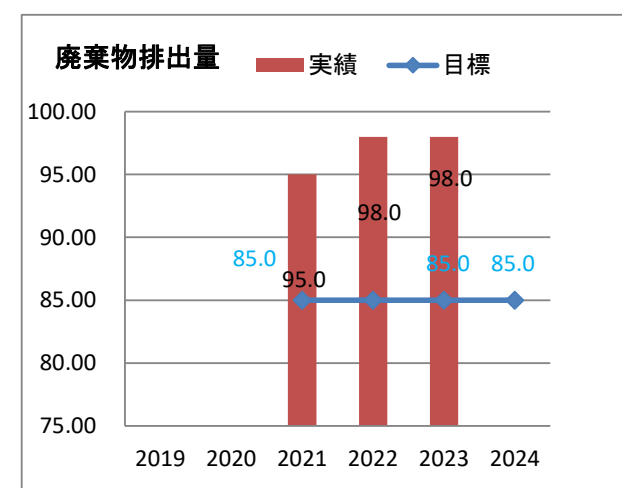
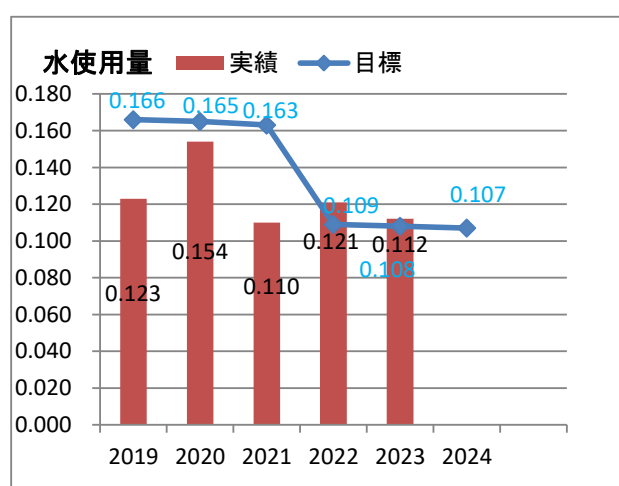
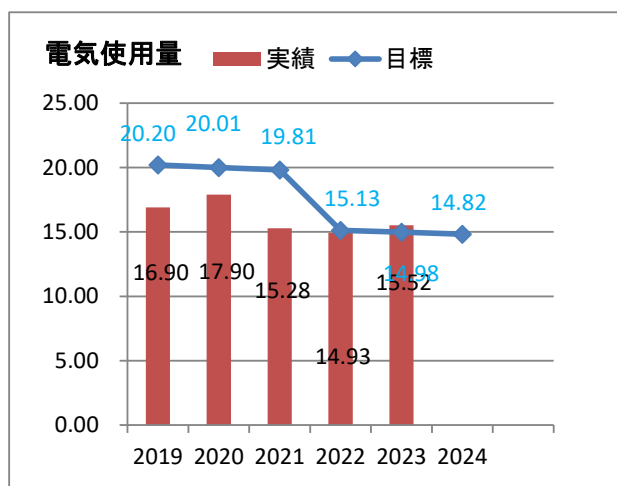
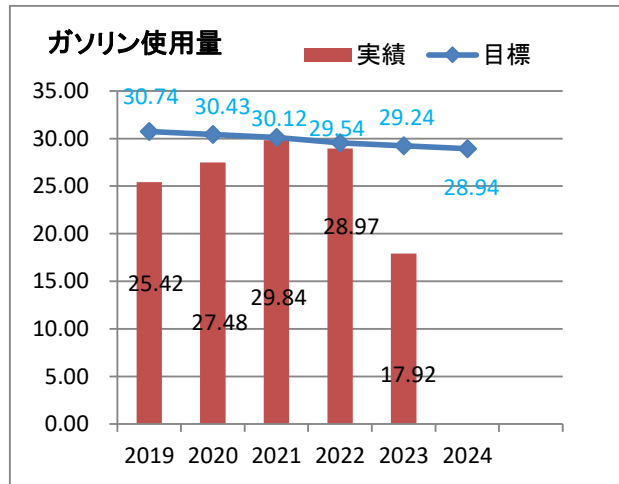
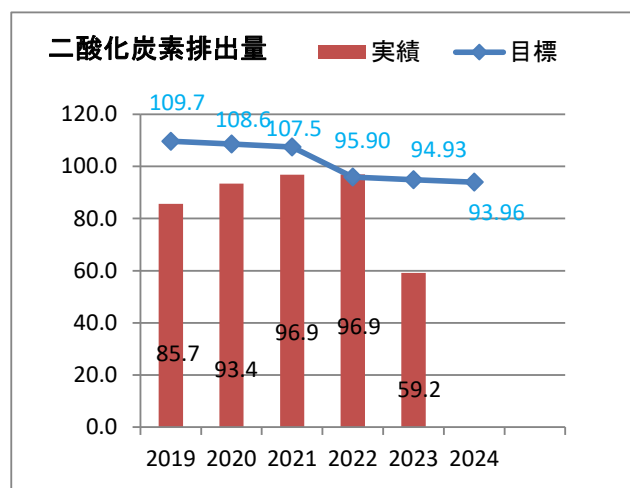
## 8. 運用期間の達成状況と評価

項目	環境負荷	単位	2021年度 実績 2021年10月～ 2022年9月	2023年度目標 (基準年度比2%減) 2023年10月 ～2024年9月	2023年度 実績 2023年10月～ 2024年9月	評価
	売上高	百万円	1731.9		2359.4	
	手直し工事件数	発生件数ゼロを目標とする			目標達成	○
全体	二酸化炭素排出量	kg-CO2	167,764.00	164,408.72	141,386.19	
		kg-CO2/売上 高(百万円)	96.87	94.93	59.92	○
	ガソリン使用量	L	51,672.76	50,639.30	42,288.67	
		L/売上高(百 万円)	29.84	29.24	17.92	○
事務所	電気使用量	kWh	26,468	25,939	36,617	
		kWh/売上高 (百万円)	15.28	14.98	15.52	△
	水使用量(排水量)	m <sup>3</sup>	191	187	265	
		L/売上高(百 万円)	0.110	0.108	0.112	△
	一般廃棄物排出量	kg	1,333.60	1,306.93	2,047.70	
		kg/売上高(百 万円)	0.77	0.75	0.87	×
	グリーン購入の推進	件	45	配慮する	配慮できた	○
工事現場	軽油使用量	L	14,110.70	13,828.49	9,792.38	
		L/売上高(百 万円)	8.15	7.98	4.15	○
	産業廃棄物排出量		再資源化率85%以上を目指す		98%	○
	環境配慮		環境配慮に徹底した現場管理をおこなう		配慮できた	○

・達成状況の評価は原単位指標に対して、設定している。

○:達成 △:10%以内 ×:10%以上

## 達成状況の比較(原単位)



## 9. 環境経営計画の実施状況と評価および次年度の取組

		取組項目	評価	評価内容	次年度の取組
手 の 直 削 し 減 工	現 場	自社にて中間検査を行う	○	監督及び作業員、複数の人数で確認した。	継続実施
		情報交換を定期的に行う	○		
二 酸 化 炭 素 の 削 減	事 務 所	待機電力の削減	○	PCの設定を節電モードに切り替えた。	継続実施
		不要な照明の消灯	○	昼食時、不在時の消灯。	継続実施
		エアコンの設定温度	○	不在時はOFFにした。マメに温度設定を変えた。	継続実施
		冷暖房機器の清掃	○	定期的に清掃した。	継続実施
		外出時の効率化	○	外出先の確認をして 効率よく出かけられるよう声掛けを徹底した。	継続実施
	現 場	不要なアイドリングの禁止	○	熱中症対策のためアイドリングの停止ができなかった	継続実施
		現場への車輛乗り合い実施	○	現場先・外出先を互いに確認しあい、乗り合いに努めた。	継続実施
		車輛の往復運搬削減	○	本社へ戻る必要のない時は現場への直行直帰をした。	継続実施
		定期的自主点検ほか 施工開始時点検の実施	○	空気圧の点検をマメにした。	定期的な空気圧の確認
排 削 水 減 量 の	事 務 所	水道配管からの漏水を定期的に 点検	○	定期的に点検をした。	継続実施
	現 場	洗車時の節水 工具・器具・用具等の清掃	○	定期的に実施できた。	継続実施
廃 棄 物 排 出 量 の 削 減	事 務 所	ゴミの分別の徹底	○	ペン等の細かい物も徹底できている。	継続実施
		段ボール等紙類のリサイクル	○	指定業者に回収してもらう。	継続実施
		コピー用紙の両面使用	△	印刷時に(両面・ミスプリント)注意するよう心がけた。	継続実施
	現 場	仮設材等の再利用	○	現場での分別作業は徹底している。	継続実施
		仮設資材・用具のリユース化	○	可能な限り再利用に努めている。	継続実施
		不要な塩ビパイプの回収	○	実施できた。	継続実施
		電子Manifestの導入	○	90%電子Manifestへ移行した。	継続実施
	購 入 の 推 奨	文房具等の新規購入に於いてグリー ン購入の実績を把握し購入を検討 環境に優しい資材等の情報を収集す る	○	グリーン商品を優先して購入した。 材料メーカーに聞き、考慮した。	継続実施

○・・・達成、△・・・やや達成、×・・・達成せず

# 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

実施日：2024年12月16日  
担当者：簗下 克己

1 環境関連法規等の遵守状況  
当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵法 チェック
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (排出事業者)	廃棄物収集運搬 処理業者との委託契約	契約(書)の締結 B2票、D票、E票の返却	○
	マニフェストの管理	現場ごとに管理	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間 A票、B2票、D票、E票	○
	産業廃棄物管理票交付状況等 報告書の提出	毎年6/30までに報告	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	保管BOXにシートを被せる等	○
	産業廃棄物保管場所への 掲示板の設置		○
	多量排出事業者の責務	計画書・実績報告書の提出	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の選任		○
	産業廃棄物処理委託先の 現地確認(委託前及び定期的) 及び記録の保管	年1回以上 5年間保存	○
騒音・振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	規制基準(騒音・振動)の遵守		○
フロン排出抑制法	第一種特定製品	簡易点検すること	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・洗濯機・冷蔵庫	家電廃棄時は適切に対処	○
環境基本法	一般的な自主努力		○
循環型社会形成 推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の 循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○
消防法	火災の予防	溶接・溶断時の火災予防	○
オフロード法 (特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律)	特定特殊自動車排気ガスの抑制 定期点検の実施		○
建設リサイクル法	建設廃棄物の適正な処分		○

チェック・・・○ 出来た △ 一部出来なかった × 出来なかった

2 違反、訴訟等の有無  
関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

## 11. 代表者による評価と見直し

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合等の指示事項等
1	環境経営方針	有・無	
2	環境経営目標	有・無	中長期目標値の見直しを検討する
3	環境経営計画	有・無	現場での環境配慮を更に充実させる
4	実施体制	有・無	エコアクション21の活動を徹底させる
5	その他	有・無	ペーパーレスの徹底

### ①工事現場でのクレーム削減及び現場施工品質の向上について

苦情等はなかった。施工品質の向上については、現場での打合せを重ね概ね達成できた。

### ②リサイクル活動・二酸化炭素等の排出量削減について

紙ごみはできるだけ分別し古紙回収に出したが、焼却する必要のある書類が増えた。

大口の現場が増加しているので、できるだけ書類をデータで保管するよう切替えるように心がけたい。

### ③環境関連の法律遵守は良好である。

### ④グリーン購入に努めた。

### ⑤引き続き、社内・現場ともに活動を継続実施し、協力業者へも浸透させていきたい。

2024年12月16日

株式会社 渥美  
代表取締役 渥美寿人